

第 1 号議案

令和 5 年度 事業報告について

令和 5 年度（公社）沖縄県青少年育成県民会議の事業については、令和 5 年 5 月 26 日に開催した第 56 回定時総会で決議された事業計画に基づき次のとおり実施した。

1 第 56 回定時総会

日 時 令和 5 年 5 月 26 日（金） 14 : 00 ~ 15 : 00
場 所 豊見城市中央公民館 中ホール
出席正会員 208 名中 115 名（委任状 86 名含む）

決議事項等 (1) 顕彰事業表彰式

ア 善行青少年	3 名	イ 育成功労者表彰	5 名
ウ 模範活動団体	2 団体	エ 県民会議役員	9 名

上記 17 名・2 団体を表彰した。

(2) 総 会

審議事項

- ① 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について
- ② 第 2 号議案 令和 4 年度収支決算の承認について
監査報告について
- ③ 第 3 号議案 役員の選任について
上記 3 議案について原案のとおり決議された。

報告事項

- ① 令和 5 年度事業計画について
- ② 令和 5 年度収支予算について
- ③ 事務局長の再任命について

2 臨時総会

日 時 令和 5 年 10 月 26 日（総会の決議があったものとみなされた日）
場 所 書面にて開催
承認回答 208 名中 131 名
決議事項等 理事の退任に伴う、新理事の就任について

3 第 1 回理事会

日 時 令和 5 年 5 月 8 日（月） 14 : 00 ~ 15 : 30
場 所 沖縄県三重城合同庁舎 5 階 501 研修室
出席 13 人（理事総数 24 人） 監事 1 人

決議事項（議案）

- (1) 令和 4 年度事業報告について
- (2) 令和 4 年度収支決算について
— 監査報告 —
- (3) 役員の推薦について
- (4) 定時総会の招集について

(5) 賛助会員の承認について

4 第2回理事会

日 時 令和6年3月18日(月) 13:30~15:00

場 所 沖縄県三重城合同庁舎 401.402 研修室

出席理事 14人(理事総数23人) 監事1人

決議事項 議案

(1) 令和6年度 事業計画(案)について

(2) 令和6年度 収支予算(案)について

(3) 事務局長の承認について

報告事項

(1) 令和5年度 事業執行状況について

(2) 事業報告・今後の日程

【公益事業1】

令和5年度の定例総会後の主な主催行事の実施状況は下記のとおりである。

1. 令和5年度沖縄県青少年フレンドシップイン九州

(1) 期 日 令和5年7月29日(水)~8月4日(木)(6泊7日) ※台風の影響で2泊延泊

(2) 訪問地 熊本県

(3) 参加者 小学生139人・中学生21人・高校生20人 児童生徒計 180人
役職員15人

総 計 195人

(4) 参加者負担金(一般団員) 55,000円

※招待団員 ①児童養護施設(10人)

②県里親会(3人)

③県母子寡婦福祉連合会(4人)

計 17人

(5) 主な研修内容

キャンドルのつどい、熊本城見学、水基めぐり

自然体験活動(仙酔峡ハイキング)、号車別創作発表会、お別れセレモニー

(活動の宿泊場所: 国立阿蘇青少年交流の家)

(6) 団員募集 公募期間 令和5年4月15日~令和5年5月31日

・応募者(小中学生) 387人(小学校118校、中学校49校)

(7) 事前研修

・役職員会議・・・・・・6/13

(県民会議 会議室)

・役職員・班長研修会・・6/17~18

(石川青少年の家)

・沖縄本島地区・・・・・・7/7~7/8

(石川青少年の家)

・宮古・八重山地区及び補充者研修会・・7/15 (県三重城合同庁舎4階/離島はZOOMにて)

・補充者研修会(2回目)・・7/22

(県三重城合同庁舎4階)

・役職員事前会議・・・・・・7/20

(県三重城合同庁舎4階)

(8) 事後研修等

・県への報告・・・・・・8/18

(県庁6階第2特別会議室)

・役職員反省会・・・・・・10/14

(石川青少年の家)

・事後研修会・・・・・・10/14

(石川青少年の家)

(9) 事業報告書(230部)・DVD(200枚)を作成・配布する

2. 令和5年度沖縄県青少年フレンドシップイン兵庫

- (1) 期 日 令和5年12月23(土)～12月26日(火)(3泊4日)
- (2) 訪問地 兵庫県
- (3) 参加者 一般団員：小学生40名、中学生15名、役職員：9名 総計：64名
※招待団員 児童福祉施設 県青少年・子ども家庭課より推薦1名
- (4) 主な研修内容
兵庫から学び兵庫へ伝えることをテーマに、震災学習や兵庫県の児童生徒との交歓交流会を通してお互いの歴史や文化・自然をはじめ、日常生活での興味関心についてお互い紹介しあい固い友愛の絆を養う。
- (5) 参加者負担金(一般団員) 60,000円
- (6) 団員募集 期間：令和5年9月1日～令和5年10月14日
・応募者(小中学生) 99人(小学校56校、中学校19校)
- (7) 事前研修
班長事前研修会 11/11・・・・・・・・・・・・・・(ていりる3階 創作室)
役職員会議 11/17・・・・・・・・・・・・・・ (県民会議 会議室)
事前研修会 11/18～19・・・・・・・・・・・・・・ (県立石川青少年の家)
役職員会議 11/19・・・・・・・・・・・・・・ (県立石川青少年の家)
補充者研修会 12/2・・・・・・・・・・・・・・ (県民会議 会議室)
- (8) 事後研修等
・県への報告会 令和6年1月17日(水) (県庁6階第2特別会議室)
・事後研修 令和6年1月20日(土) (県立石川青少年の家)
・役職員反省会 令和6年1月20日(土) (県立石川青少年の家)
- (9) 事業報告書200部、DVD100枚を作成し配布する。

3. 第45回沖縄県「少年の主張大会」

- (1) 日 時 令和5年9月22日(金) 14:00～17:00
- (2) 場 所 名護市民会館 中ホール
- (3) 地区大会参加校 116校 主張大会応募者数 5,640人
- (4) 県大会審査委員 6名
・委員長 與那覇 正樹 (県中学校長会会長(長嶺中学校長))
・委 員 與志平 洋子 (県中学校国語研究会会長(嘉手納中学校長))
嶺井 亮英 (県子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課主幹)
崎浜 秀治 (県教育庁生涯学習振興課 社会教育主事)
宮城 政信 (国頭地区青少年育成市町村会議 会長)
大野 克郎 (NHK沖縄放送局放送部アナウンサー)
- (5) 発表者 各地区代表 12人
(国頭2人、中頭3人、那覇3人、島尻2人、宮古1人、八重山1人)
- (6) 審査結果
【最優秀賞】 下地 琉聖 (那覇市立安岡中学校3年) ～「自分」
【優秀賞】 又吉 椿 アリーヤ (浦添市立港川中学校3年) ～「「私らしく」生きる」
村田 光 (浦添市立仲西中学校3年) ～「僕ができること」
【審査員特別賞】 長澤 あかり (竹富町立西表中学校3年) ～「学ぶことの意味」
高安 芙佳 (本部町立上本部中学校3年) ～「認められる喜び」
【優良賞】 上記以外の他の出場者

- (7) 聴 衆 会場 160 名
 (8) 九州大会 県代表の下地 琉聖さんが九州ブロックビデオ審査に参加した。
 (9) 全国大会 11/12 (日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
 (10) 発表文集 「少年の主張ーいま中学生が伝えたいことー」を 600 部作成した。

4. 令和 5 年度「家庭の日」絵画・ポスターコンクール

- (1) 公募期間 令和 5 年 6 月 1 日～9 月 29 日
 (2) 公募対象 県内の小・中・高等学校
 (3) 応募状況 小学校 457 点、中学校 13 点、高校 39 点、特別支援学校(特別支援学級含む)34 点、
総計 543 点 (参考：令和 4 年度 547 点)

(4) 審査委員 11 人

- ・審査委員長 前田 比呂也 (浦添市立神森中学校 教諭)
- ・委 員 山入端 津由 (沖縄県青少年育成県民会議 会長)
- 嶺井 亮英 (沖縄県青少年・子ども家庭課 主幹)
- 崎浜 秀治 (沖縄県教育庁生涯学習振興課 社会教育主事)
- 川平 武宥 (沖縄県青少年育成県民会議 元常務理事)
- 津波古 達功 (国頭地区青少年育成市町村民会議 事務局)
- 金城 幸次 (沖縄市青少年育成市民会議 副会長)
- 真玉橋 信克 (島尻地区青少年育成市町村民会議 副会長)
- 鈴木 明子 ((一社) 沖縄県女性の翼 研修・翼講座委員)
- 瀬長 恵子 ((一社) 沖縄県女性の翼 OK 基金運営委員会委員)

(5) 審査結果

最優秀賞

【児童の部】

- ① 摩文仁 悠心 (石垣市立登野城小学校 2 年) 「家ぞくみんなでギョーザづくり！」
- ② 比嘉 日向大 (沖縄市立泡瀬小学校 6 年) 「おとうとのたんじょう日」

【児童特別支援の部】

- ① 比嘉 莉玖 (沖縄市立山内小学校 4 年) 「家族みんなでバーベキュー楽しいな」

【生徒の部】

- ① 田中 エミリ (うるま市立あげな中学校 2 年) 「みんなでハイチーズ！」
- ② 親川 弥怜 (県立真和志高等学校 3 年) 「愛」

【生徒特別支援の部】

- ① 有銘 寛友 (県立ろう学校中等部 2 年) 「家族全員とドライブするのが僕の願い」

※審査では、最優秀賞 6 点 (児童の部 2、児童特別支援学校の部 1、生徒の部 2、生徒特別支援学校の部 1)、優秀賞 22 点、優良賞 42 点を選考した。

(6) 作品の展示

- ①場 所 県立図書館 3 階 展示ホール

期 間 令和 5 年 11 月 22 日 (水) ～12 月 4 日 (月)

- ②場 所 沖縄市立図書館

期 間 令和 5 年 12 月 8 日 (金) ～12 月 19 日 (火)

※展示案内を各学校に通知。

※最優秀賞 6 点、優秀賞 22 点 計 28 点を展示した。

※表彰式を第 44 回沖縄県青少年育成大会にて行い、会場にて展示した。

※最優秀賞 6 点は次年度啓発用ポスターとして印刷した。(600 部)

5. 第8回沖縄県青少年を健やかに育てる県民大会

- (1) 日 時 令和5年7月14日(金) 15:00～15:50
- (2) 場 所 南城市文化交流センター シュガーホール
- (3) 主 催 公益社団法人沖縄県青少年育成県民会議
- (4) 参加人数 約52名

6. 青少年育成者研修会

①「第1回」

- (1) 日 時 令和5年7月14日(金) 14:00～14:50
- (2) 場 所 南城市文化交流センター シュガーホール
- (3) 講 話 「子どもと保護者の支援について～寄り添うということ」
講 師 照屋 葉月 氏 (浦添市教育委員会相談担当)
- (4) 参加人数 約52名

②「第2回」

- (1) 日 時 令和5年10月13日(金)
- (2) 場 所 名護中央公民館 第1.2研修室
- (3) 講 話 「青少年の薬物依存についての理解と対応～大麻乱用を中心に～」
講 師 近藤 淳哉 氏 (那覇市少年鑑別所 首席専門官)
- (4) 参加人数 約38名

③「第3回」

- (1) 日 時 令和6年2月16日(金)
- (2) 場 所 沖縄市立中央公民館 研修室1.2
- (3) 1部: 講 話 「マイクロカウンセリング・基本的かかわり技法のワークショップ」
講 師 平山 篤史 氏 (沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 准教授)
- 2部: 「地域の子は地域で守り育てる」運動の推進について
事例発表 安里 嗣浩 氏 (沖縄市青少年育成市民会議)
- (4) 参加人数 約32名

7. 沖縄県社会教育関係団体等連絡会・高校生・関連企業 共同アピール 2023

- (1) 日 時 令和5年7月13日(木) 14:00～14:30
- (2) 場 所 県民広場前・沖縄モノレール県庁前駅付近
- (3) 主 催 沖縄県社会教育関係団体等連絡会
- (4) 共 催 沖縄県教育委員会
- (5) 参加協力団体
沖縄県高等学校PTA連合会／(公社)沖縄県青少年育成県民会議／
(一社)沖縄県PTA連合会／(一社)沖縄県子ども会育成者連絡協議会／
(一社)沖縄県婦人連合会／沖縄県青年団協議会／沖縄県公民館連絡協議会／
(一財)日本ボーイスカウト沖縄連盟／(一社)ガールスカウト沖縄県連盟／
沖縄県ユネスコ協会／沖縄県社会教育委員連絡協議会／
沖縄県社会教育指導員連絡協議会／(公財)沖縄県老人クラブ連合会／
沖縄県特別支援学校PTA協議会／沖縄県小売酒販組合／沖縄県酒造組合／
日本たばこ産業株式会社／株式会社セブン・イレブン・沖縄・
沖縄ファミリーマート／ローソン沖縄
那覇商業高等学校／那覇高等学校／那覇国際高等学校／沖縄工業高等学校

(6) 参加人数 約 60 名

(7) 活動内容

セレモニー後、高校生が作成した共同アピール用チラシ・ポスターを紹介し、印刷したそのチラシを県内各学校、関係機関へ配布した。

【公益目的事業 2】

1. 沖縄子どもの未来県民会議

沖縄子どもの未来県民会議の事務局を沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課と共同で担い、本会は主として県外大学進学サポートの審査・支払業務や、会計の出納事務を担当した。

(1) 理事会の開催（年 2 回）

○第 1 回理事会

・日 時：令和 5 年 6 月 6 日（火）14:00 ～ 15:30

・場 所：県庁 6 階第 2 特別会議室

○第 2 回理事会

・日 時：令和 6 年 3 月 13 日（水）14:00～15:30

・場 所：県庁 6 階第 2 特別会議室

(2) 令和 5 年度総会 令和 5 年 7 月 11 日（火）開催

ア) 子ども未来支援事業

NPO 法人やボランティア等が共同して実施する活動に対し支援するほか、児童養護施設退所児童や 1 人親家庭等に対し支援を行う

①子供に寄り添う給付型奨学金事業

②子ども未来応援助成金事業

③食支援連携事業

④県外大学等進学サポート事業

⑤その他支援事業

イ) 普及啓発事業

・沖縄子ども未来県民会議の取り組みについて、イベント活動やホームページなどによる普及啓発活動を行うとともに、沖縄子ども未来県民会議の事業を継続的に行うための寄附活動を行う

(3) 子どもの貧困対策に関する基金設置団体との意見交換会